

長田中 学校だより

元気発信感動ながた



第100号 令和6年3月15日発行
金沢市立長田中学校
Email nagata-j@kanazawa-city.ed.jp
学校ホームページURL
<https://kanazawa.schoolweb.ne.jp/1720003/>

*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

第77回卒業証書授与式・式辞

式辞にあたり、昨年発生しました能登半島地震及び能登豪雨でお亡くなりになった方のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

校庭の木々の蕾もほころび始め、金沢にも春の息吹が感じられる今日のこの佳き日に、金沢市教育委員会教育総務課課長補佐 内山 善之様、PTA副会長 藤田 徹様、学校運営協議会の皆様のご臨席を賜り、また、保護者の皆様のご列席を賜り、第77回卒業証書授与式を挙げてまいりますことを、職員一同、心から厚くお礼を申し上げます。

只今、卒業証書を授与しました191名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

振り返ってみると、皆さんは、コロナ禍で不安な中、中学校に入学しました。そして、校訓である「和・自主・責任」を念頭に、学業、学校行事、部活動に全力で取り組んで、大きな成長を遂げられました。素直で真面目、そして仲間思いの皆さん一人ひとりが、この3年間に輝きを放ったものは数多くありましたが、特に本校の伝統行事である「演劇発表会」では、さすがの演技で聴衆を魅了し、それぞれの劇が持つテーマについて、大切なメッセージを発信してくれました。学校生活におけるみなさんの頑張り、学校全体の活力となり、最高学年としての自覚と規律を守りつつ、高いリーダーシップを発揮して、本校の伝統を引き継ぎながら大きな足跡を残してくれました。本当にありがとうございました。もちろん、この3年間は、決して平坦な道ばかりではなく、つまずいたり悩んだりしたこともあったに違いありません。しかし、その一つひとつが中学校生活の貴重な体験として、これからの人生の糧となることを願います。

さて、これから皆さんが迎える未来は、急速なAI技術の進化や社会構造の変革により、大きく変わっていくことが予想されます。また、ある人類学者によれば、皆さんの世代の半数は、100歳以上生きられる可能性があると言われています。そうなるとうみなさんの人生は、これから八十年~九十年近く続きます。今後、社会がどれだけ変化し、人類がどのような課題に直面するのかを予測することすら難しい時代がやってくるのです。そんな時代を生きるみなさんに、一つだけ話をします。

小説「下町ロケット」のモデルになった植松 努さんのお話です。子どものころから紙飛行機が大好きで宇宙にあこがれ、大学では流体力学を学び、名古屋で航空機設計を手がける会社に入社されました。その後北海道に戻り、父親が経営する植松電機に入社して、電磁石の開発製作を手がけますが、ロケットの研究を進めていた北海道大学の先生との出会いをきっかけに、ふたたび宇宙へのあこがれを胸に、ロケットの研究開発をされた方です。植松さんは、小学生の頃は勉強ができなくて悩んだそうです。母に将来は飛行機やロケットの仕事をしたと言ったところ、母親は「あなたには無理」とも「頑張ればできる!」とも言わなかったそうです。その代わり「思うは招くだよ」と、気休めの言葉を教えてくれたそうです。でも彼はその言葉のおかげでいろんなことができるようになった気がして、その言葉が大好きだそうです。「思うは招く」とは、「何事も思い続け行動すれば実現できる」という意味です。皆さんが何かを叶えるためには、まず自分が動く、行動する、そのことによって自分自身のうちでは確実に何かが変わっていく。それが、さらなる自分の興味・関心につながり、将来の目標や夢へと繋がっていくのです。人は誰しも順風満帆なときばかりではありません。むしろうまくいかなかったり、悩んだりすることの方が多いかもしれません。エネルギーがなくなり、一歩も前に進めないと感じるときもあるかもしれません。それでも、ここぞと言うときには「思うは招く」の言葉を思い出し、「どうせ無理」ではなく「だったらこうしてみよう」とプラス思考で考え、自分を奮い立たせて、夢に向かって挑戦してほしいと思います。

卒業生の皆さん、本校で培った素敵な「あいさつ」と「和の心」で、同じ志を持つ「仲間」を見付け、いつまでも夢を追い、一歩先を見て進んでいく、そんな人生を送ってほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、ご家族の皆様、お子さまのご卒業、誠におめでとうございます。心も身体もたくましく成長された姿に、皆様の胸にも、熱き思いがあふれていることと存じます。あらためまして、本校の教育活動を温かい目で見守っていただきありがとうございました。お子さんはこれから人生において最も多感な高校生という時期を向かえます。保護者の皆様には、お子さんが成長していく中で楽しみの多い反面、どう接してよいのか戸惑うことも多くなっていくかもしれません。わが子の様子を見るとき、親はどうしても横軸でみてしまいがちです。横軸とは周りにいる同年代の子どもと比較して一喜一憂することです。わが子は日々、成長していきます。その成長を横軸ではなく、縦軸でみながら、よろこびを分かち合っていたいただければと存じます。これからも、お子さんが夢に向かう姿を、どうぞ温かく見守り支えてください。

結びに、卒業生の皆さんの前途に幸多からんことを祈念し、保護者の皆様、地域の皆様からこれまでいただきましたご厚情に深く感謝を申し上げます。

令和7年3月15日
金沢市立長田中学校長 増江 雅人

卒業おめでとうございます!